

川越まつり山車ロボットコンテスト 2019 講習会の報告

日時： 2019年7月14日(日) 13:00~16:00

場所： 東洋大学川越キャンパス 1号館 3階 1301教室

コンテストの概要：

川越まつり山車ロボットコンテストは、山車ロボットコンテスト実行委員会（東洋大学理工学部機械工学科の有志教員により構成）によって主催・運営されており、日本機械学会関東支部埼玉ブロックが後援している。主に高校生(中高一貫校の中学生も可)を対象としたロボットコンテストであり、地元の伝統文化である「川越まつり」(2016年12月にユネスコの文化遺産に認定された)の山車(だし)をロボットで模擬するという、ユニークなロボットコンテストである。活動は、7月に行う「講習会」と、11月に行う「コンテストの本番」とに分かれている。

講習会の様子：

当日は、3つの高校から、16名の生徒(エントリーは22名)と4名の教員が参加した。Arduinoマイコンを使って、プログラムによりモータの回転の制御やセンサ信号の読取りを行うという基礎的な内容の講習を行い、また、併せて、コンテスト参加時の注意事項の説明やアドバイスをした。その様子を以下に示す。



図1 コンテストの概要の説明の様子



図2 プログラムの工夫の説明の様子

(スクリーンに向かって右手に日本機械学会の幟を掲示している)



図3 実習中の高校生(その1)



図4 実習中の高校生(その2)

PS.

コンテスト本番の日程と場所について：

2017年から、川越市・川越商工会議所が共催で行っている「かわごえ産業フェスタ」の枠組みの中でこのコンテストを開催している。観覧した市民および主催者側からたいへん好評であったため、今年も同イベントの中で開催することになっている。日程と場所は以下の通り。

日程： 11月24日(日) 13時~16時 (前日は公開練習)

場所： ウェスタ川越(川越駅西口徒歩5分)

(文責：松元明弘(東洋大学))